

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観点				
							国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
①	1	(1)		話すこと・聞くこと 3・4年	イ 話の中心に気を付けて聞くこと	ひろしさんが大切にしているものは何かを聞くこと。		○			
②		(2)		話すこと・聞くこと 3・4年	イ 話の中心に気を付けて聞くこと	スーパー竹とんぼを大切にしている理由がよく分かる話の仕方に、気を付けて聞くこと。		○			
③		(3)		話すこと・聞くこと 3・4年	ア 自分の考えが分かるように話の中心をはっきり決めて話すこと	ひろしさんの話をもとに、自分が大切にしているものと大切にしている理由がよく分かるように話すこと。		○			
④				言語事項 3・4年	カ-(7) 相手やその場の状況に応じて丁寧な言葉で話すこと	多くの人の前で話すときに「です」「ます」の文末で話すこと。					○
⑤				話すこと・聞くこと 3・4年	(関心・意欲・態度)	大切にしているものについて、理由が分かるように話そうとすること。	○				
⑥	2	(1)	①	言語事項 3年	「ととの（える）」と読むこと	日常生活でよく使う3年配当の漢字「整」を、「ととの（える）」と訓読みで正しく読むこと。					○
⑦			②	言語事項 2・3年	「やきゅう」と読むこと	2年配当の漢字「野」と3年配当の漢字「球」を組み合わせた熟語「野球」を、「やきゅう」と正しく読むこと。					○
⑧			③	言語事項 1・3年	「ひょうざん」と読むこと	3年配当の漢字「氷」と1年配当の漢字「山」を組み合わせた熟語「冰山」を、「ひょうざん」と正しく読むこと。					○
⑨			④	言語事項 3年	「みずうみ」と読むこと	3年配当の漢字「湖」を、「みずうみ」と訓読みで正しく読むこと。					○
⑩			⑤	言語事項 3年	「いそ（ぐ）」と読むこと	日常生活で使う3年配当の漢字「急」を、「いそ（ぐ）」と訓読みで正しく読むこと。					○
⑪		(2)	①	言語事項 2年	「細（い）」と書くこと	日常生活でよく使う2年配当の漢字「細（い）」を、文字の形に気を付けて正しく書くこと。					○
⑫			②	言語事項 3年	「放（す）」と書くこと	3年配当の漢字「放（す）」を、はね、はらいに気を付けて正しく書くこと。					○
⑬			③	言語事項 1・2年	「遠足」と書くこと	学校生活でよく使う2年配当の漢字「遠」と1年配当の漢字「足」を組み合わせた熟語「遠足」を正しく書くこと。					○
⑭			④	言語事項 2年	「来週」と書くこと	日常生活でよく使う2年配当の漢字「来」と「週」を組み合わせた熟語「来週」を正しく書くこと。					○
⑮			⑤	言語事項 2・3年	「太陽」と書くこと	理科の学習でよく使う2年配当の漢字「太」と3年配当の漢字「陽」を組み合わせた熟語「太陽」を正しく書くこと。					○
⑯		(3)	①	言語事項 3・4年	エ-(イ) 国語辞典の使い方を理解すること	国語辞典では、言葉がどのような形で出てくるか理解し、「すすめ」を言い切りの形に直すこと。					○

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観点				
							国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
17	2	(3)	②	言語事項 3・4年	エ-(ア) 表現したり理解したりするために必要な語句を増やすこと	意味の上で「かりる」の反対の関係にある言葉「返（かえ）す」または「もどす」を書くこと。					○
18			③	言語事項 1・2年	オ-(ア) 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと	日常生活において、相手や場面に応じた丁寧な言葉遣いで話すこと。					○
19			④	言語事項 3・4年	イ-(ア) 文や文章の中で漢字を正しく使うこと	送り仮名に注意して「行います」を「おこな（います）」と正しく読むこと。					○
20				言語事項 3・4年	イ-(ア) 文や文章の中で漢字を正しく使うこと	送り仮名に注意して「行って」を「い（って）」と正しく読むこと。					○
21	3	(1)		読むこと 3・4年	イ 中心になる語や文をとらえて文章を正しく読むこと	なぜ、タブノキが倒れたのか、叙述に沿って読み取ること。				○	
22		(2)		読むこと 3・4年	ウ 場面の移り変わりや情景を想像しながら読むこと	倒れたタブノキを見たときの子どもたちの気持ちを、叙述に沿って想像してまとめること。				○	
23		(3)		言語事項 3・4年	エ-(ア) 表現したり理解したりするために必要な語句を増やすこと	文脈を考えながら、最もふさわしい副詞を選ぶこと。					○
24		(4)		読むこと 3・4年	ウ 場面の移り変わりや情景を想像しながら読むこと	子どもたちのタブノキへの思いを読み取りながら、このあとの子どもたちの行動を叙述を基に想像してまとめること。				○	
25				読むこと 3・4年	（関心・意欲・態度）	読み取った内容を踏まえて、自分なりの思いや考えを具体的にまとめようとする。	○				
26				読むこと 3・4年	エ 読み取った内容について自分の考えをまとめること	想像した内容をもとに、このあとの子どもたちの行動の理由をまとめること。				○	
27	4	(1)		書くこと 3・4年	イ 書く必要のある事柄を収集したり選択したりすること	お礼のカードには、感謝の気持ちを書く必要があることに気付くこと。			○		
28		(2)		書くこと 3・4年	オ 文章のよいところを見つけること	二つの例文を読み比べて、イの文章の記述のよさに気付くこと。			○		
29				書くこと 3・4年	オ 文章のよいところを見つけること	例文イは、一番心に残ったことが明確に、詳しく分かるように書いてあることに気付くこと。			○		
30		(3)		書くこと 3・4年	ア 相手や目的に応じて、適切に書くこと	例文を参考にして、校区探検や社会科見学などでお世話になった人に、お礼のカードを書くこと。			○		
31				言語事項 3・4年	ウ-(イ) 句読点を適切に打ち、段落の始めは行を改めて書くこと	順序や内容のまとまりを意識して改行し、正しい表記で書くこと。					○
32				書くこと 3・4年	（関心・意欲・態度）	お世話になった人に、感謝の気持ちや一番心に残ったことが伝わるように、「お礼のカード」を書こうとすること。	○				